

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



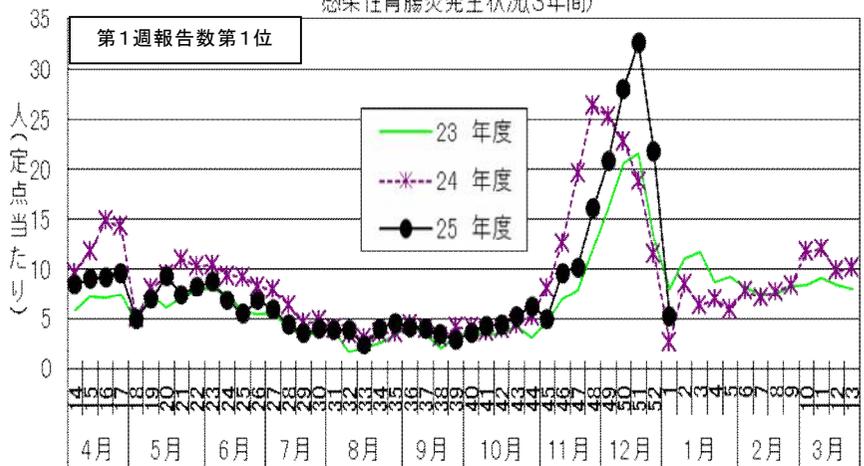
KAWASAKI CITY



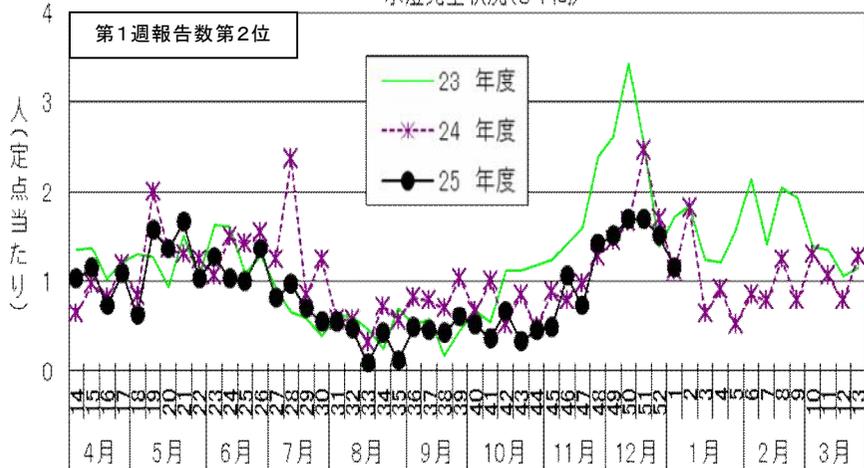
平成25年12月30日(月)～平成26年1月5日(日)〔平成26年第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり5.23人と前週(21.76)より患者報告数は大幅に減少していますが、第1週は年末年始の期間であり、休診医療機関が多かったため、全体的に報告数が少なくなっています。
 インフルエンザは定点当たり0.84人と前週(2.13)より患者報告数は減少しています。ただし、今後冬期休暇が終了し、学校、幼稚園、保育所などでの集団生活が再開した後に、インフルエンザの流行が本格化していくと推測されますので、今後の発生動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

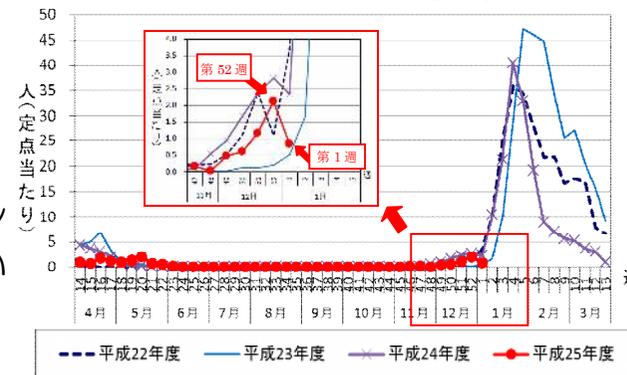


インフルエンザ予防の徹底を！！

いよいよ寒さも本番になり、これから本格的な“インフルエンザ流行シーズン”が始まります。グラフは、市内のインフルエンザの流行状況です。年末年始は多くの医療機関が休診であったことから、第1週の患者報告数は減少していますが、例年の傾向をみると、今後急激に増加することが推測されます。

これから“受験シーズン”を迎える方も多いかと思しますので、「受験日にインフルエンザで寝込んでしまった…」ということのないように、次に紹介するインフルエンザの予防法を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



インフルエンザの予防法 基本の6か条

① 流行前のワクチン接種



③ 外出後の手洗い等



⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取



② 咳エチケット



④ 適度な湿度の保持



⑥ 人混みや繁華街への外出を控える